

メタ・プラットフォームズ (META)

売上成長力強くも営業利益率低下。米新法人税による 87%の課税から減益。データセンター建設のファンドパートナー発表も市場は好感せず。

ナスダック | インターネット・メディア | 業績フォロー

BLOOMBERG META:US | REUTERS META.OQ

直近業績：10月29日（米国時間）発表の2025年12月期第3四半期の業績は、売上が前年同期比26.2%増の512億USD、営業利益が同18.4%増の205億USD、当期純利益が同82.7%減の27億USDの増収減益にて着地。営業利益率は2.67ポイント低下。最終利益の減益要因は2025年7月4日に成立した新法人税法により87%もの法人税を課税されたことによる。企業発表によれば、これらは繰延税金資産を減価させる一時的な非現金支出であり、4Q以降には影響がないとの説明である。一時的な税費用影響を除いた実効税率と当期純利益は、それぞれ14%と186億USDであったと説明されている。

事業概況：Family of Appsの売上成長は20%超を維持して依然力強いものの、セグメント利益の成長はやや鈍化、利益率は4.83ポイント低下した。AIに関連した研究開発費およびエンジニアへの株式報酬費用負担増が特に大きいとみられる(表⑥)。営業KPIでは、広告表示の前年比増加率は、前年同期の7%から当期の14%へと成長が加速したが、広告単価の前年比成長率は前年同期の14%から当期の10%まで低下した(表⑤)。これは、広告表示頻度が最も加速したアジア地域において、広告単価成長が鈍化したことが一因と考えられる。こうした地域での料金プラン見直しなどが必要だろう。Reality LabsやOAKLEYとの協業でスマートサングラスを販売するReality Labsの売上成長は好調であり、セグメント営業損失も前年同期比で0.1%の増加にとどまった。セグメント売上に対してセグメント営業損失の規模はその10倍近くあり、黒字化への道は遠いと見える(表④)。

投資論点・リスク：米ルイジアナ州のハイペリオンデータセンター建設費用の調達について、オルタナティブ投資運用会社であるBlue Owl Capital (NYSE: OWL)とのパートナーシップ締結を発表した。これは共同出資する投資ファンド(特別目的ビークル:SPV)に建設中のデータセンターを譲渡し、その対価としてファンド持ち分20%を得るという契約である。譲渡後の追加建設費用はファンドと当社それぞれの持分に応じた共同拠出となる。竣工後のデータセンター利用についてはリース契約となる。これは一種のセールスアンドリースバック契約であるが、当社が得るデータセンター譲渡の対価がファンド持ち分であり、(その出資比率から連結外となるため)負債価値をネットした純資産価値がファンド持ち分価値として当社の財務諸表に計上されることから、一部のメディア報道において、エンロンなどで見られた債務のオフバランス化手法との類似性が指摘された。この影響を受け、株価は10月30日に12%超下落した。現金を対価とした売却と異なり、ファンド持ち分価値とデータセンター評価額が等価であるか観測しづらいといった、資産処分に関連する善管注意義務にも論点があると考えられる。この取引の透明性確保と妥当性について、当社からの更なる説明努力が必要だろう。

通期実績推移 (12月期)					
	FY22	FY23	FY24	CAGR	FY25(F)
売上高 (百万USD)	134,902	164,501	199,354	21.6%	199,354
当期利益 (百万USD)	23,200	39,098	62,360	63.9%	69,777
希薄化後EPS (USD)	0.38	0.54	0.51	15.8%	28.88
一株あたり配当 (USD)	0.00	0.00	2.00	--	2.09

四半期実績推移					
	3Q24	2Q25	3Q25	ΔY/Y	3Q25(F)
売上高 (百万USD)	40,589	47,516	51,242	26.2%	58,310
売上総利益 (百万USD)	33,214	39,025	42,036	26.6%	--
粗利/売上高 (%)	81.83	82.13	82.03	+0.2pts	--
営業利益 (百万USD)	17,350	20,441	20,535	18.4%	--
営利/売上高 (%)	42.75	43.02	40.07	-2.67pts	--
当期利益 (百万USD)	15,688	18,337	2,709	-82.7%	--
希薄化後EPS (USD)	6.03	7.14	1.05	-82.6%	9.36

(出所：会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

* 青字・水色字はアナリストの計算、集計による

フィリップ証券株式会社・リサーチ部

三角友幸

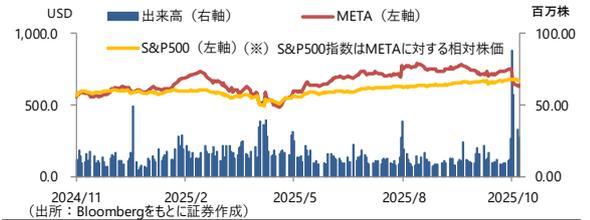
TEL：+81 3 3666 0707 (直通)

E-mail：tomoyuki.misumi@phillip.co.jp

予想配当 (USD)	2.09
株価 (USD)	635.95
実績 PER (倍)	22.25
予想 PER (倍)	22.02
時価総額 (10億 USD)	1,603.3
3ヵ月平均売買代金 (百万USD)	10,048.8

* 配当予想と予想PERはブルームバーグ、各数値は11/5終値による
* 実績PERは過去12ヶ月累計EPSによる

会社概要
 ■2004年にマーク・ザッカーバーグ氏により設立されたソーシャルメディア企業。2012年にナスダックにクラスA普通株式を上場。2022年に社名をメタ・プラットフォームズへ変更。クラスA普通株式は一株1票の議決権を持つに対して、クラスB株式は一株10票の議決権を持つ。クラスB株式の主たる保有者である現CEOマーク・ザッカーバーグ氏が議決権の過半数を有する。
 ■Family of Apps：主要SNSであるFacebook、Instagram、Messenger、WhatsAppに掲載される広告収入が主たる収益源である。
 ■Reality Labs：メタバース技術を事業化。VRヘッドウェアのMeta QuestやRay-Ban Meta AI Glassなどのウェアラブル、AI関連ソフトウェアが収益源。



① 株価リターンデータ *	META	S&P500	β推定値	α(アルファ)
市場ベータ (β)	1.26	1.00	--	--
% 日次平均リターン (r)	0.04	0.06	0.08	(0.04)
% 日次標準偏差 (σ: シグマ)	2.34	1.16	1.45	1.67

* 2024/11/1~2025/11/5の過去52週の株価 (終値：ブルームバーグ) に基づいて算出。
* 各項の定義および留意については次頁参照

② 競合・類似企業比較 (市場)	GOOGL	MSFT	AMZN	META
直近株価 (25/11/5: USD)	284.31	507.16	250.20	635.95
時価総額 (25/11/5: 10億USD)	3,433	3,769	2,675	1,603
予想PER	26.13	31.88	28.92	22.02

* 各社直近株価、時価総額、予想PERはBloombergデータに基づく

業績詳細 (単位：百万USD)				
③ 競合・類似企業比較 (業績)	GOOGL	MSFT	AMZN	META
直近決算発表日	10月29日	10月29日	10月30日	10月29日
直近決算区分	3Q25	1Q26	3Q25	3Q25
TTM・売上高	385,477	293,812	691,330	189,457
売上高CAGR (3年間)	9.1%	10.4%	7.7%	14.3%
% 営利/売上高 (3年平均)	29.87	44.59	8.52	37.38

*TTM(trailing twelve months)は直近の四半期決算を基準とした過去12ヶ月の業績の集計値

* 売上高CAGRと平均利益率は、各社直近決算日とその前年同期、前々年同期を起算日として遡及計算した各期TTM業績に基づく。(METAの場合、3Q25、3Q24、3Q23を基準としたTTM業績を参照)

④ セグメント別業績	3Q24	2Q25	3Q25	ΔY/Y
Family of Apps 売上収益	40,319	47,146	50,772	25.9%
Family of Apps 営業利益	21,778	24,971	24,967	14.6%
% Family of Apps 売上/営利	54.0	53.0	49.2	-4.83pts
Reality Labs 売上収益	270	370	470	74.1%
Reality Labs 営業損失	(4,428)	(4,530)	(4,432)	0.1%

⑤ KPI	3Q24	2Q25	3Q25	ΔY/Y
DAP (10億人)	3.3	3.5	3.5	7.6%
ARPP (USD)	12.3	13.7	14.5	17.7%
広告表示増減 (%前年同期比)	7.0	11.0	14.0	--
広告単価成長 (%前年同期比)	14.0	9.0	10.0	--

*DAPは一日あたりアクティブユーザー数、ARPPは一人あたり平均広告収入。

⑥ 研究開発費および設備投資	3Q24	2Q25	3Q25	ΔY/Y
研究開発費	11,177	12,942	15,144	35.5%
うち株式報酬費用	3,486	4,080	4,814	38%
設備投資 (資本支出+リース)	9,202	17,012	19,374	111%

⑦ 利益・キャッシュフロー比較	3Q24	2Q25	3Q25	ΔY/Y
当期純利益	15,688	18,337	2,709	-82.7%
営業キャッシュフロー	24,724	25,561	29,999	21.3%
フリーキャッシュフロー	15,522	8,549	10,625	-31.5%

(引用:表③~⑥は企業公表値にもとづいてアナリストにより作成)

* 青字・水色字はアナリストの計算、集計による。

<レポート右図表における『株価リターンデータ』の項目における用語説明>

レポート右図における『株価リターンデータ』の各項目を以下のように定義し、情報端末より引用、もしくは情報端末の市場データを用いて算出しています。

市場ベータ (β)	ブルームバーグ端末より参照した市場ベータ値（未修正*）。当該株式と指数との連動性を示しており、当該株式を保有する投資家が取っている市場リスクの多寡を示す。 * 未修正とは、ブルームバーグ調整ベータと異なり、時価総額による調整を行っていないことを指す。
日次平均リターン (r)	観測期間（過去 52 週）における日次リターン（前日終値に対する当日終値の上昇・下落率）の平均値。
日次標準偏差 (σ：シグマ)	観測期間（過去 52 週）における日次リターンの標準偏差であり、投資家が取っている価格リスクを示す。
r + 1σ利得超過・観測日数	過去 52 週（営業日数 250 日前後を想定）における実測の日次リターン（利得）が、平均リターン(r)と標準偏差(σ)× 1 の和を超過した日数。
r - 1σ損失超過・観測日数	過去 52 週（営業日数 250 日前後を想定）における実測の日次リターン（損失）が、平均リターン(r)と標準偏差(σ)× 1 の差を超過した日数。
β推計値	S&P500 をベンチマーク指数とし、ベンチマークの日次リターンに当該株式の市場ベータを乗じて導出した、当該株式の日次リターンの推計値の過去 52 週平均値、および推計日次リターンの過去 52 週の標準偏差値。
α (アルファ)	β推計された日次リターンと実測日次リターンとの差分。投資家が当該個別株に投資することによって得られた市場リスクに対する理論上の超過利得（損失）を示す。

* 当該株式のリターン、S&P500（指数）リターン、β（ベータ）と α（アルファ）には以下の関係があると想定する。

$$R_{\text{株式}} = \alpha + \beta \times R_{\text{指数}}$$

$R_{\text{株式}}$: 当該株式の価格リターン

$R_{\text{指数}}$: ベンチマークとなる指数の価格リターン

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元：フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 4 番 2 号

TEL:03-3666-2101 URL： <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者：リサーチ部 三角友幸

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考としてレポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、本レポートの作成者も、責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載することを禁じます。

< 日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則（平 14.1.25）」に基づく表示 >

・フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。